

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和3年3月4日(2021.3.4)

【公開番号】特開2019-169016(P2019-169016A)

【公開日】令和1年10月3日(2019.10.3)

【年通号数】公開・登録公報2019-040

【出願番号】特願2018-57393(P2018-57393)

【国際特許分類】

G 06 Q 50/08 (2012.01)

【F I】

G 06 Q 50/08

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月20日(2021.1.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

<施工データ記憶手段>

施工データ取得手段10で取得した諸元データは、HDD等からなる施工データ記憶手段70に記憶しておくことが可能である。例えば、サーバーに設置されたHDDに諸元データを記憶しておき、ネットワークを介して諸元データを取得することにより、諸元データを一元管理することができる。ここで、ネットワークは、インターネット回線、一般電話回線、専用電話回線、有線LAN、無線LAN等、データを送受信可能であれば、どのような構成であってもよく、これらを組み合わせて使用することもできる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

<工程変更指示手段>

工程変更指示手段50は、検出した不具合工程を現場状況に対応させて変更し、工程の変更指示データを出力するための手段であり、例えば、工程の変更指示データを出力するためのプログラムからなる。検出した不具合工程を現場状況に対応させて変更するには、例えば、施工シミュレーション手段20におけるシミュレートデータの中から、不具合工程を除去できるシミュレートデータを選択すればよい。